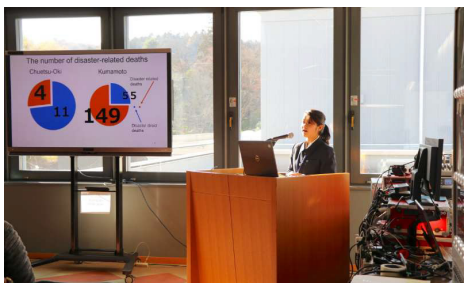
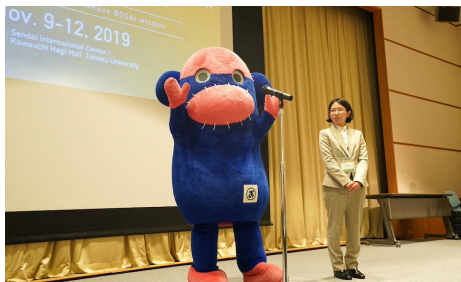


2025年3月7日 世界防災フォーラム2025開催決定



World Bosai Forum 2025

— どうする キコヘン? —

第4回目となる世界防災フォーラムを開催いたします。

日時：2025年3月7日(金) - 3月9日(日)

会場：仙台国際センター・仙臺緑彩館

主催：世界防災フォーラム国内実行委員会/国際実行委員会 共催：東北大学

主なコンテンツ

セッション

ミニプレゼンテーション

ポスターセッション

ワークショップ

World Bosai Forum Online

World Bosai Expo

World Bosai Festival



参加申し込みについて

2024年8月1日から特設サイトで申し込みを開始します。

セッションの開催、発表に関しては有償参加者のみ発表可能です。

高校生以下は無償で発表できます。

協賛について

開催にあたり協賛くださる企業様や団体様を募集します。

ランクに応じて、セッションの優先開催や World Bosai Expo (現地での展示) や World Bosai Forum Online(事前録画による発表)、WEB や現地での広告枠などをご提供いたします。ぜひご検討ください。



参加者・協賛くださる皆さま向けの情報は WEB サイトで随時更新してまいります。

防災×帽祭プロジェクト

クラウドファンディングを行っています！

クラウドファンディングサイト CAMPFIRE で防災ファッションフェス「防災×帽祭プロジェクト」のクラウドファンディングが開始しました。

「防災×帽祭プロジェクト」とは

みなさんは防災ってどんなイメージを持っていますか？多くの方は避難訓練などを思い浮かべ、やらされ感のようなイメージを持っている方も多いと思います。

私たちは防災を楽しいものにするために帽子をツールにすることにしました。帽子帽祭防災…帽子を何回か唱えると何故か防災に。帽子デザイナーさんやスタイリストさん、Vリーグのリガーレ仙台さん、多くの方に協力いただきプロジェクトは始まりました。

とはいえ、お金の無い大学教授が作った財団、おのくんプロジェクトもギリギリの採算です。能登にもおのくんを届けたい。こんな想いを実現するためにクラファンを開始しました。

リターンは、帽子デザイナーさんの手作りおのくんのチビ帽子、財団スペシャルおのくんなど、ここだけのものを揃えています。



防災をエンタメにして、
楽しく・確実に、身近なものにする。

帽子



おしゃれな帽子を選べる
帽子を作るお手伝いをする

避難



おしゃれな帽子をかぶって避難をする

お祭り



防災をエンタメにして、
お祭りのように積極的なイベントにする



クラウドファンディングの
ご支援はこちらから
CAMPFIRE



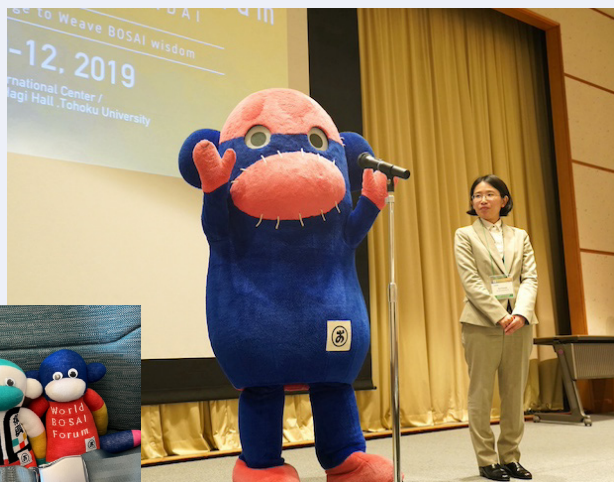
おのくんのご紹介

—陸前小野駅前の仮設住宅で生まれたぬいぐるみ—

世界防災フォーラムの公式キャラクターを務めるおのくんは靴下から作られたお猿さんのぬいぐるみ。宮城県東松島市の「小野駅前応急仮設住宅」で誕生したからおのくんです。

東日本大震災で被災して先の見えなくなった困難な状況のなかで、東松島の復興を願う仮設住宅のお母さんたちが製作・販売をはじめたおのくんには、世界中に 30 万人近くの家族がいます。当財団代表理事の小野君がおのくんの実家を訪れたことがきっかけで、おのくんは世界防災フォーラムの公式キャラクターを務めてくれることになりました。

世界防災フォーラムでは、「めんどくしゅー」が口癖のおのくんに配慮して、ゆるキャラのような形ではなく、さりげなくおのくんが登場いたします。



仙台防災未来フォーラム2024のご報告



世界防災フォーラムは3月9日に開催された仙台防災未来フォーラムにてセッション発表とブース出展をいたしました。

また、世界防災フォーラム2025を共催する東北大学の、災害科学国際研究所のセッションにおいて世界防災フォーラム2025の開催日と概要を正式に発表しました。

発表の様子はメディアなどでも広く報道頂きました。

世界防災フォーラム2025開催予告



災害科学国際研究所のセッションでは世界防災フォーラム代表理事の小野裕一と、公式マスコットキャラクターのおのくんが登壇し、世界防災フォーラム2025 (World Bosai Forum 2025) の開催発表を行いました。

世界防災フォーラムは東北・仙台から世界に防災を発信する市民参加型の国際会議です。前回フォーラムでは40の国と地域からのべ5,412名にご参加いただきました。

またフォーラムでおこなわれた国際機関、政府、学术界、民間企業、NGO、市民の対話を踏まえて、仙台防災枠組の中間評価に向けた提言を作成し、国連国際防災戦略事務局の水鳥氏に手渡しました。

次回の世界防災フォーラムは「どうするキコヘン？」をキャッチフレーズに2025年3月7日(金)から3月9日(日)に開催されます。

どうするキコヘン？

世界防災フォーラム2025のキャッチフレーズは「どうするキコヘン？」です。

「キコヘン」という言葉は、気候変動(キコ)による災害リスクを減らすために、どのように行動変容(=変化、ヘン)するか考えよう、というメッセージです。気候変動により災害が激化していると言われる今、普段の生活や仕事の中でキコヘンを意識する必要があります。

World Bosai Fes

世界防災フォーラム2025では、2019年まで開催されていた前夜祭が当日祭「World Bosai Fes」として復活します。

World Bosai Fesでは一般市民の気軽な来場を促すため、「防災×帽祭プロジェクト」の一環であるファッションショーなどの企画を予定しています。

セッション

タイトル

100年前の手紙 —関東大震災直後、アメリカに届けられた日本人学生の感謝の想い—



関東大震災に際して当時の学生達がアメリカ大統領に宛てた「100年前の手紙」を調査するプロジェクトの中間報告をおこない、実際に手紙を書いた生徒が在籍していた福島県の安積高校から新聞部の生徒さんに登壇いただきました。



ブース展示

タイトル

ここが新しい！仙台防災枠組のアイデア —なぜ“世界”防災を仙台から発信するのか—



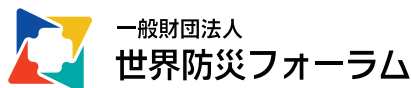
セッション、ブースの発表の詳細につきまして、世界防災フォーラムWEBサイトにて後日ご報告をいたします。

Bosaiを世界に！ロゴマークの変更を実施

ロゴマークの変更



旧ロゴマーク



新ロゴマーク

世界防災フォーラムが運営する防災国際会議「World BOSAI Forum」の英語表記が変更となります。また、この表記変更に伴い運営団体である一般財団法人世界防災フォーラムのロゴマークが改定されました。

会議名表記の変更

旧会議名表記 World BOSAI Forum

新会議名表記 World Bosai Forum

旧会議名表記の「BOSAI」は、東日本大震災などを教訓に培われてきた日本の「防災」という考え方をそのまま英語化し、さらに大文字表記で強調しています。これは防災を世界に浸透させるために防災という単語の認知度を高める意図がありました。

しかし東日本大震災をきっかけに仙台で国連世界防災会議が開かれて7年半が経ち、その会議で定められた目標の中間評価が行われるに至って、「防災」は世界に認知されつつあります。そこで私たちは防災を特別なものではなく、当たり前のものとして社会に浸透させるために、今後は防災を一般名詞と同じ「Bosai」と表記することにいたしました。

これからも世界防災フォーラムをよろしく願いたします。

3月6日 世界防災フォーラムのWEBサイトをリニューアル

様々な情報にアクセスしやすくなりました。



文字が多い、トップページの情報が少ない、などのみなさまからの声を受け、財団ではWEBサイトの全面更新を実施しました。

今後も世界防災フォーラムは、より見やすく、分かりやすい情報発信に努めてまいります。寄付やサポーター様向けのページなど、その他ページについてもリニューアル作業を継続中です。ぜひ一度サイトを訪問してリニューアル内容をご覧ください。

なお URL に変更はございません。

<https://worldbosaiforum.com>

ご寄付のお願い

世界防災フォーラムの活動は皆さまからのご寄付によって支えられています。

いただいたご支援は世界防災フォーラム開催などの事業や日々の私たちの運営費に活用されます。



ご寄付はこちらから